

3月のゆるりん歩き

平成20年3月2日（日）
13：30～15：00
参加者16名

今回のゆるりん歩きの講師はツバキの会の田島先生です。
都市環境学習センター事務所前で講師の紹介をしてから椿園に移動しました。

ツバキの名前の由来は、
「分厚い葉の木」「あつばき」「つばき」
「つやつやの葉の木」「つやばき」
「つばき」という2つがあるそうです。

自生しているユキツバキ、ヤブツバキを
交配して園芸種としてのツバキが作られて
いるそうです。
メジロやヒヨドリなどが花粉を食べにきて
交配することもあるそうです。

サザンカもツバキと同じキヤメリア科。
ツバキは学名がCamellia japonica
カメリア・ジャポニカと言い、日本原産の
植物です。アメリカ原産など海外のツバキも
ありますが、日本からアメリカなど海外へ持っていったもの
が、その国で品種改良されたものだそうです。

品種改良によって花だけでなく、葉も楽しめるようにと品種
改良されているものもあるそうです。

たくさんのツバキについてのお話を聞きながら、椿園にある
ツバキの花を楽しんだゆるりん歩きになりました。



松山市の花はヤブツバキ
マンホールの蓋にも
描かれています。

